

農山村の地域資源を次世代に

『都市と農村をつなぐボランティア活動』

とちぎ夢大地応援団



(第1回) 6/27

←大豆種まき
親子でうね立て作業
も初体験です

川での生きもの
観察→
沢山の水生生物に
出会いました



とちぎ夢大地応援団ジュニア育成活動の報告

未来を担う子供達に農業や農村が果たす役割について関心を持ってもらうため、小学生とその家族による農村の環境保全活動や農業体験を行いました。

内容

6/27 大豆種まき、西荒川で生きもの観察
8/29 枝豆収穫・試食、尚仁沢湧水自然観察
12/5 豆腐づくり、落ち葉さらい

場所

塩谷町上寺島地区・星ふる学校「くまの木」



(第2回) 8/29
枝豆収穫と試食

大豆と枝豆が同じと
初めて知りました
←

(第3回) 12/5
豆腐作り体験です
作りたては美味でした
→



(第1回) 6/27お世話になった上寺島の皆さんと

はばたけ夢大地

第8号 2010/2

とちぎ夢大地応援団事務局
(財) 栃木県農業振興公社
栃木県農政部農村振興課

とちぎ夢大地応援団活動の取り組み地区から

ー継続地区からー



国見棚田保全組合（11月7日実施） （那須烏山市国見地区）

活動5年目を迎えた今年も、柚子やみかんが黄金色の実をたわわにつけて応援団員を出迎えてくれました。今年は市外から23名の応援団と地元や関係者等総勢65名が参加して、棚田南面の下草刈りに汗を流しました。

作業終了後は名物「すいとん」をご馳走になり、地域通貨“ゆめ”を利用したみかん刈りも楽しみました。



和田用水ホタルの里の会 （9月27日実施） （鹿沼市中粕尾地区）

恒例の「ホタル水路」の除草と小松菜の種まきが、埼玉県・鹿沼南高校・県内応援団・地元の親子等々88名の参加で開催されました。特にホタル水路の除草の際、水草内に隠れている水生昆虫の救出作業は子供たちに好評でした。

又昼食はJA栗野女性会の皆さんの地元食材を使った豪華手作り料理をいただき大感激の一日でした。

関谷上の内むらづくり推進協議会 （9月20日実施） （那須塩原市関谷地区）

今年で3年目を迎えた親水水路の清掃活動は、宇都宮市や鹿沼市からの応援団と地元協議会の皆さん総勢27名の参加で開催されました。今年初めて参加した親子は、水の冷たさときれいさに大感激の様子でした。作業後は地元のお母さん方が心を込めて作ってくれた田舎料理に舌鼓を打ち、近くのリング園でりんご狩りを楽しませていただきました。





小貫焼森の里づくり協議会（11月15日実施） （茂木町小貫地区）

里の秋真っ盛りの日曜日、宇都宮市から駆けつけたNPO法人ナルクの方や宇都宮大学の皆さん等々59名の参加を得て、焼森山登山道約200m区間両脇へ山ツツジの植栽が行われました。作業後は地元会長自ら手打ちそばを現地で調理し、振る舞ってくれました。又地域通貨“ゆめ”を利用し地元の直売所で野菜等をどっさり購入して帰った方が沢山おりました。

下彦間むらづくり推進協議会（8月23日実施） （佐野市下彦間地区）

今年の夢大地実施一番のりはここ佐野市の下彦間のカタクリ復活作戦です。夏真っ盛りで厳しい暑さでしたが、森林ボランティアの方を中心に50名が参加して篠竹の刈り払い等を行いました。夏盛りのため作業は困難を極めました。夏盛りのため作業は困難を極めました。夏盛りのため作業は困難を極めました。作業後は地元農村レストラン「須花坂」で手打ちそばに舌づつみを打ちました。今春はカタクリの花見がしたいですね。



文挾ため池ふれあいの里づくり協議会 （11月8日実施） （日光市文挾地区）

夢大地応援団受入2年目を迎えた当地区は、今年もため池の泥さらいや周辺の清掃と、休耕田への菜の花の種まき作業です。昨年は菜の花が見事に咲き、地域の景観向上に大いに寄与しました。今年は地元自治会のパワーアップもあり、大きな成果をあげられました。交流会も地元女性会の心づくしの料理とともに和やかに行われました。来年は「ヒツヂグサ」の復活を期待しましょう。

虹色の里あじ彩協議会（11月1日実施） （茂木町河又地区）

多様な活動を展開している当協議会の拠点である農村レストラン「虹色の里あじ彩」裏山の景観整備には強力な森林ボランティアの皆さん始め、多様な応援団18名が駆けつけました。長年放置された見晴らし台は篠竹が生い茂り作業は大変でしたが無事終了。たき火での焼き芋に舌鼓みを打ったり、プロの味の昼食や地域通貨“ゆめ”を活用したピザ作り体験等有意義な時間を過ごしました。





—今年初めて取り組んだ地区—

大木須むらづくり推進委員会（10月12日実施） （那須烏山市大木須地区）

オオムラサキの里の景観を守ろうと県内から森林ボランティアの方を中心に38名の応援団が駆けつけてくれました。作業はセイタカアワダチソウの刈り払いとソバ刈りの応援です。2時間余奮闘後は名物カレーとケンチンうどんをご馳走になったり、オオムラサキの幼虫を見せてもらったりと、楽しい交流会となりました。又地域通貨“ゆめ”を使用して、そば祭りに多数の方が参加してくれました。



芦野の里づくり委員会（11月14日実施） （那須町芦野地区）

遊行柳で有名な芦野の里の景観整備として「館山城跡」の雑灌木刈り払い作業は雨の中の作業となりました。宇都宮市から駆けつけたNPO法人「栃木県環境カウンセラー協会」の皆さんを中心に17名の応援団が劣悪の足場での作業に奮闘しました。冷えた身体を「名物しし鍋」で歓待していただき地元も応援団も感謝一杯の一日でした。



とちぎ夢大地応援団セミナーが開催されました



「多様な力で中山間に活力を」と銘打って、平成21年12月15日（火）午後1時30分から4時まで県庁東館講堂に、関係者約100名が参集して開催されました。基調講演は「都市農村交流と地域の活性化」と題して、星ふる学校「くまの木」の遠藤理事長からボランティアの本質や、夢大地応援団の各組織での役割等に関わる話題提供をいただきました。活動発表では、事務局の立場から「今年度の各地区の活動状況や参加者の分析結果」、次いで宇都宮白楊高等学校の学生2名により「茂木町河又地区での耕作放棄地再生の取り組み（里山が結ぶ食育ネットワーク）」、そして応援団の立場からNPO法人ナルク栃木「とちの実会」の走出事務局長から「夢大地応援団に参加して」の事例発表がなされました。

途中休憩時間を利用して小山北桜高校、鹿沼南高校、真岡北陵高校、宇都宮大学さとびとの活動状況紹介パネル展示や、今年実施した「和田用水ホタルの里の会」の活動記録DVDの放映がなされました。その後活動発表や意見交換会が行われ、貴重な意見を沢山いただきました。



（くまの木・遠藤理事長）



（ナルク・走出事務局長）

地域通貨“ゆめ”



事務局 （財）栃木県農業振興公社
〒320-0047 宇都宮市一の沢2-2-13
TEL 028-648-9511 FAX 028-648-9517
栃木県農政部農村振興課
〒320-8501 宇都宮市堀田1-1-20
TEL 028-623-2334 FAX 028-623-9337
<http://www.tochigi-agri.or.jp/yumedaichiouendan/yumedaichi/index>